



発行所 福岡県遠賀郡水巻町役場  
西尾 司実憲  
責任者 柴田 明  
編集人 岡部 明  
印刷所 冷牟田印刷合資会社

# 優良公民館視察

穂波町 町社会教育委員 稲築町へ  
二月九日(日)

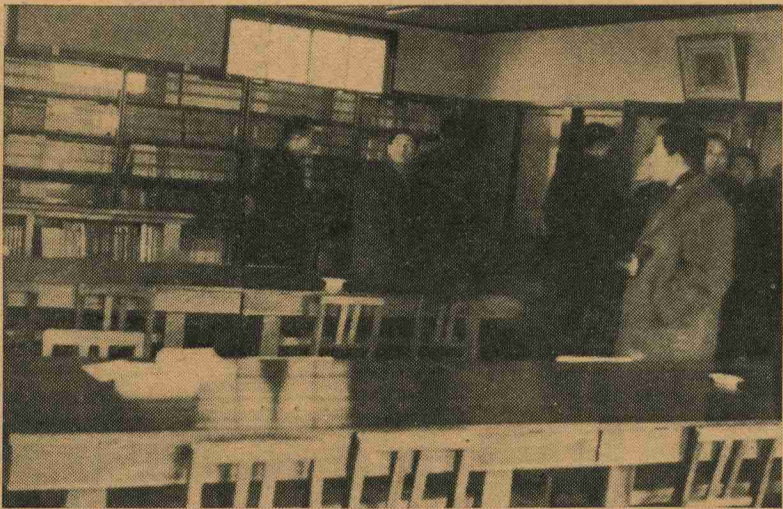


穂波町公民館講義室にての懇談会風景

町社会教育委員四十名余りは、明るい町づくりの修練と銘打って、去る二月九日(日)午前八時水巻町を後にして一路川筋街道を築豊嘉穂の奥地へ向うことになった。先ず三十一年度に於ける全国優良公民館として文部大臣より表彰された実績を持つ穂波町公民館並びに稲築町公民館に赴くことに予定された。

第一の目的地穂波町は周知の通り炭山によって栄えた。一昨年来まで全国一位の大きい村で、昨年町制を施行した人口四一・八九六八、九・三九七七世帯という、勿論当町や中間・富田・川崎・鞍手等と共に

に筑豊七ヶ村の雄と称し、隣家の多き田舎には有名であり、町内炭山も日鉄・三菱・住友の大手筋と、久恒・原を擁する大村であり、その手入れの行き届いた風景に、折柄結婚式の当日の事として、新婦・田等が有り、黒煙と硬山は各所(丘陵地帯)に助的雰囲気もあつた。



稲築町公民館の図書館を視察する一行

一時間余りいろいろ懇談して、次の穂波へ向うことになった。穂波の状況を伺った一行は、当時のそれと今とを比べて、話の次から次と限りなく展開し、ブロック会議その他よく馴染んだ話もある。ついで本館を通り過ぎるという状況で、一行はバスを降りて、六角堂式な建物の前へ舗道を上り、公民館の玄関に赴くことになった。

さて左の山隈地帯に新しい社宅風景が力強く窺われた。公民館は安閑に考古学的参考品が多く陳列されており、一行の目を射止てくれた。又、特に大ホールは、演劇に対する考慮が十分なものであり、さながら一流の劇場へでも案内された感があった。一行は、随の講義室で二応の説明を聞くことになり、

- 【穂波町】  
木造一階建 三〇五・〇七坪  
延面積 三九八・五七坪  
敷地面積 九四二・〇坪  
坪数 三三坪  
図書室 一四坪  
会議室 一四坪  
講義室 一八坪  
談話室 一八坪  
展示室 三坪  
八坪

### 金言

人をかえようとすれば  
まず自分をあらためよ  
相手方の理解が大切  
対立は避るべし

下上り、徳島の飾りも飾りがまじり、日本間に家内され、早速主事さんの説明入り、一行と懇談会の形で約一時間余り、質疑応答が展開され、終つて千分余り実地視察がなされたが、特に図書館の実用度を目を惹いた。高校生や中学生の男女が幾人も勉強している姿で、争うつやましい次第であった。

### 公民館施設の使用料金表(稲築町)

室名	広さ坪	自八時	自十三時	自十八時	自二十時	終日
講堂(映画演習)	二二二	五〇〇円	五〇〇円	七〇〇円	一、〇〇〇円	一、〇〇〇円
大会議室	一八	二〇〇円	二〇〇円	三〇〇円	三〇〇円	六〇〇円
中会議室	八	一五〇円	一五〇円	二〇〇円	二〇〇円	四〇〇円
小会議室	六	一〇〇円	一〇〇円	一五〇円	一五〇円	二五〇円
和室(次の間共)	一三	一〇〇円	一〇〇円	二〇〇円	二〇〇円	六〇〇円
教室	二二	一五〇円	一五〇円	二〇〇円	二〇〇円	四〇〇円

【稲築町】  
この町もやはり七ヶ村の雄と称し、隣家の多き田舎には有名であり、町内炭山も日鉄・三菱・住友の大手筋と、久恒・原を擁する大村であり、その手入れの行き届いた風景に、折柄結婚式の当日の事として、新婦・田等が有り、黒煙と硬山は各所(丘陵地帯)に助的雰囲気もあつた。

【稲築町】  
この町もやはり七ヶ村の雄と称し、隣家の多き田舎には有名であり、町内炭山も日鉄・三菱・住友の大手筋と、久恒・原を擁する大村であり、その手入れの行き届いた風景に、折柄結婚式の当日の事として、新婦・田等が有り、黒煙と硬山は各所(丘陵地帯)に助的雰囲気もあつた。

【稲築町】  
この町もやはり七ヶ村の雄と称し、隣家の多き田舎には有名であり、町内炭山も日鉄・三菱・住友の大手筋と、久恒・原を擁する大村であり、その手入れの行き届いた風景に、折柄結婚式の当日の事として、新婦・田等が有り、黒煙と硬山は各所(丘陵地帯)に助的雰囲気もあつた。

## 傷病軍人の傷病恩給額発表さる

臨時恩給等調査が翌年6月16日生れて、満6ヶ年其の間審議を重ねること数十回、12月15日岸総理大臣へ答申案を提出、又この案について関係官僚や代議士の検討を加え2月10日やと発表されました。内容は次表の通りであります。

項款症	現行		修正		増加率		備考
	金額	間差	金額	間差	増加額	増加率	
第一項症	116,000	100	(195,000)	100	(79,000)	1.68	①階級差をなくした場合
第二項症	94,000	81	(163,000)	81	(69,000)	1.73	②括弧内は介護手当24,000円を加えた額である
第三項症	75,000	65	111,000	65	36,000	1.48	③第七項症以上に併給される
第四項症	31,000	35	77,000	45	36,000	1.88	参考
第五項症	23,000	20	43,000	25	20,000	1.87	兵の第一項症の手取り金は次の通りとなる
第六項症	17,000	15	72,000	19	15,000	1.88	増加の恩給
第七項症	12,000	10	21,000	12	9,000	1.75	171,000円
第一款症	14,000	12	22,000	13	8,000	1.57	介護手当24,000円
第二款症	12,000	10	19,000	11	7,000	1.58	普通恩給30,000円
第三款症	10,000	9	17,000	10	7,000	1.70	(ベースアップ後)
第四款症	9,000	8	14,000	8	5,000	1.55	計 225,000円

## 昭和三十三年 生徒募集要項

### 公立水巻高等学校

遠賀郡水巻町吉田 電話〇四〇二番

#### 第二次募集

(一) 募集人員  
1 普通科 第一学年(昼)四〇名(男、女)  
2 採鉱科 第一学年(夜)三〇名(男、女)  
3 普通科 第一学年(夜)四〇名(男、女)  
4 第二学年以上編入 各学年 若干名(男、女)

(二) 入学資格  
1 新制中学卒業生  
2 右に準ずるもの(旧高小卒業生等)

(三) 学費  
1 入学金 三〇〇円  
2 校納金 八〇〇円(授業料三〇〇円、PTA会費二五〇円、生徒会費一五〇円)  
3 教科書代 約八〇〇円  
4 後援会費 一、〇〇〇円(入学当初のみ)

(四) 卒業資格  
1 卒業生約二〇〇名  
2 卒業生の進学大学  
就職先 日炭、製鉄、安川等  
九工大、秋田大、鹿児島大、西大、日体大、学芸大、西南大、福商大、北九大、八幡大

(五) 試験日時  
昭和三十三年三月三十日(日)午前十時  
(十分前に必ず集合のこと)

(六) 試験科目  
国語、社会、数学、理科

(七) 出願期日出願手続及受験料  
出願期日 昭和三十三年三月十七日より三月二十九日正午迄  
入学願書、出身学校調査書(又は之に代る証明書)  
受験料 三〇〇円を本校事務室に提出

(八) 試験場所 本校

(九) 合格発表表 昭和三十三年三月三十一日午前九時

